

JICA INNOVATION QUEST

参加者募集説明会

ー 共創から生まれる新しい国際協力ー

2019年9月24日(火)
19:00～21:00 (18:30開場)

場所: JICA本部113会議室

(東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル)

申し込み方法: メール (jiq@jica.go.jp)

①お名前、②ご所属先

③メールアドレス、④電話番号をご記入

件名: 「JICA Innovation Quest Open Day参加申し込み」

お申込み〆切: 9月23日(月)

※満席になり次第募集終了とさせていただきます。

入場料無料

ゲストスピーカー:

渋谷スクランブルスクエア株式会社

星川和也氏

慶應義塾大学大学院

システムデザイン・マネジメント研究科特任助教

広瀬毅氏

OPEN DAY

JICA Innovation Quest事務局

Email: jiq@jica.go.jp

Tel: 03-5226-9324



JICA
Innovation
Quest



JICA Innovation Questとは...

未発掘のアイデアの原石や新しい技術、個人の
熱い想いを国際協力の世界と繋ぎ、
従来の枠組みにとらわれない新しい国際協力の
アイデアを生み出す
オープンイノベーションプログラム

JICA Innovation Questを知る

SDGsに関する途上国の課題を、多様なバックグラウンドを持つ人たちと
解決しませんか？

昨今、生活の色々な場面でもマークを見かけるようになったSDGs。民間企業でもSDGsへの貢献は当たり前時代になってきました。

一方、貧困問題や環境問題といった高度化・複雑化した社会課題を解決し、私たちが住む社会を持続可能なものにするためには、官民間問わず、多様な分野で活躍する人々の力、新しい技術やこれまでにない考え方を結集することが、益々重要になっています。

このような中、これまで国際協力に関わりを持っていなかった人々を含め、多様な人々が出会い、共に考える場を創り、従来の枠組みにとらわれない新しい国際協力・途上国課題解決のためのアイデアを創りたい。そのような想いのもと、JICA Innovation Quest、略して「ジャイクエ」は生まれました。

ジャイクエでは、多様なバックグラウンドを持つ参加者とJICA職員が少人数チームを結成し、1泊2日でチームビルディングとアイディエーション手法を学ぶキャンプ・プログラムと約3か月間のブラッシュアップ・タームを通じて、開発途上国の課題解決に資するアイデアを創出するプログラムを提供します。

JICAでは、2019年度の参加者として、ジャイクエの"仲間"を探しています。本説明会では、JICA Innovation Questを初めて聞いた！もしくは参加してみたい！という方向けに、ジャイクエの活動をご紹介します。

JICA Innovation Quest Open Day PROGRAM

- 18:30- 開場
- 19:00-19:30 ジャイクエとは？（JICA Innovation Quest事務局）
- 19:30-20:10 ジャイクエの魅力
 - 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
特任助教 広瀬毅氏
「イノベティブに考えるととは？～システム×デザイン思考で
新価値を創造する～」
 - 渋谷スクランブルスクエア株式会社 星川 和也氏
「SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）とは？」
- 20:20-20:40 ジャイクエ参加者リクルーティング
- 20:40- ネットワーキング（会場クローズ 21:00）

対象者：

JICA Innovation Questへのご参加に関心のあるかた
共創プロセスによる途上国の課題解決に関心のあるかた
SDGsの実践に関心のあるかた

*より詳しくジャイクエについて話を聞きたい、という方向けに10月に各回定員10名の
「JICA Innovation Quest Salon」（於JICA本部）を開催します。（※詳細は追って公開）

JICA Innovation Questの魅力

- 参加者は、JICAが持つ豊かな途上国とのネットワークを生かし、途上国現地での課題について、インプットを受けることが出来ます。
- 慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科のファシリテーションのもと、システム×デザイン思考を通じたアイディエーションの機会を得られます。
- 社会価値につながるアイデア・新規事業などを共創していく産業交流施設であるSHIBUYA QWS（2019年11月オープン予定）のご協力のもと、ジャイクエ内外の人との刺激的な出会いの場として、同施設の一部をブラッシュアップ・タームのプロジェクト作業スペースとして利用することが可能です。
- JICAが内外に持つネットワークを生かし、プログラムの終わりには、チームごとのアイデアに対して、JICA内外の有識者からコメントを得る機会も提供します。優勝チームには現地視察の機会が提供される可能性があります。